

### 3-3：韓国メーカーCo2溶接ワイヤー

#### ■韓国メーカー案内

新造船の溶接作業における溶接用ワイヤーとして、通常のソリッドワイヤーとは異なり、フラックスをワイヤーの内部にフラックスを包み込んだ、フラックス入りと称されるワイヤが全体の80%以上を占めています。

造船関連で多用されている、連続した長尺溶接には最適であり、国内外を問わず採用されているのがこのタイプのワイヤーであるといえます。

今回、弊社でメーカー直接取引可能な韓国メーカーのご案内をさせていただきます。

すべてのワイヤーの使用実績は、造船関連や橋梁関連では継続的にありますので、初めて採用をお考えの事業者様も、ご検討をよろしくお願いいたします。

ワイヤーの認定ですが、船級協会を始めとして以下の認定は取得済みです。

※NK/KR/ABS/LR/DNV/GL/BV/CCS/JIS等承認済み

以上、ほとんどの認定を取得していますので、安心してご採用できるかと思えます。

ご案内の韓国メーカーとしては、「(株)SEAエサブ」と「現代総合金属(株)」\*アイウエオ順の2社となります。

「現代総合金属(株)」



「(株)SEAエサブ」



この2社のフラックス入りワイヤが、韓国の造船関連事業所では、ほぼ60%~70%近くを占めています。

ソリッドワイヤと手棒に関しては、中小手や小規模鉄工所等が中心となりますので、統計も難しいのが実態で、韓国各社の生産量から判断することとなりますので、公表は難しいと思われれます。

弊社での韓国2社の販売対象者品としては、以下のアイテムが中心となります。

大手造船関に関しましては、メーカー直販が多数でありこの分野での介入に関しましては、基本介入はしないことでの方向で取り組む方針となります。

日本国内の生産業を考慮した場合、競争力が無いかと思われれますので、小規模鉄鋼所等への販売が必要ではないかと考えています。

海外との競争力強化を行うには、消耗資材の購入費をいかに低減させることができるかは、大きな課題の一つではないかと考えています。

その観点から、弊社としてはできる限り廉価な提供ができるように、韓国メーカー直輸入販売という展開を考えて、実行できる状況に至りました。

以上の観点から、できる限り小規模事業者への提供が、廉価に行えれば安定した操業に結び付くのではないかと考えている次第です。

是非、ご検討いただければ幸いです。

残念ながら、日本国内の中小の鉄工所等の購入品を調査した中では、いまだに高価購入品を使用しているように思われれます。

政府の、方針でも最低賃金の高騰、消費者物価の高騰などに対して、どうしても中小事業者への負担増は否めない状況かと思います。

この状況を、少しでも改善するには現状の資材経費を見直し事が、自身で即に対応できる事では無いかとご提案した次第です。

造船業の新造船の生産量では、中国、韓国、日本がまだ上位にあります、実際に中身がどうかを検証してみた結果、上位は韓国の手造船グループが占めています。

中国は、多数の造船所がある為と国内の建造量が多い為に建造量は1位ですが、実際に海外船舶の建造量だけを見れば、韓国には及ばないかと想定できます。

以上を参考に、今後の自社の消耗副資材の購入に関してご検討いただければ幸いです。

今回、弊社のホームページのリニューアルに際して、造船所へご提供している製品をネットショップをにてご案内するようにしていく予定ですので、是非、ご覧いただければ少しでも、ご協力いただけるかと思っています。

弊社としては、3原則し従い極力導入会社様の工程進行にご迷惑をかけないようにする所存です。

#### 三原則

- ご提供製品の安心
- 顧客への安定供給
- 優良品の廉価

の以上3点を重視して販売します。